

**けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会
企画・広報分科会
08年度活動報告・09年度活動計画**

2009年4月28日
企画・広報分科会

○ 分科会の構成（敬称略）

（リーダー）

富田 義数（三洋電機 研究開発本部 担当上席部長）

（サブリーダー）

小林 豊幸（NTTコミュニケーションズ 法人事業本部 担当部長）

山内 正巳（KDDI 官公庁営業部 グループリーダー）

松居 真一（パナソニックコーポレートR&D戦略室 戦略企画第一グループ R&D推進チーム 参事）

○ 分科会の活動方針

1. 創造系活動

- ・定期的な会員への研究ニーズ調査、内外の動向調査
- ・研究ニーズに基づき、新たな産学官連携研究開発テーマを検討

2. 促進系活動

- ・各研究開発テーマ間の交流促進
- ・シンポジウムや施設見学会等イベントの企画・実施による産官学連携促進
- ・都市産業振興や市民生活向上の観点からのアウトプット活用方策検討などの成果活用促進

3. 整備系活動

- ・研究開発整備要望など研究活動推進

2008年度の活動報告①

1. 創造系活動

- ① 会員への研究ニーズなどの調査の実施(7月実施)、ポータルサイト運営開始(9月開始)
- ② 研究ニーズに基き、産学官連携研究開発テーマ創出に向けた検討
- ③ 研究者の紹介ページの設置、第3回人材育成セミナーの実施(10月30日～31日)
- ④ AC-Net等との連携強化(情報提供、セミナーへの協賛)

2. 促進系活動

- ① ホームページリニューアルによる協議会会員企業同士のコミュニケーションの促進、協議会活動の一層のPR、普及・啓蒙活動の強化(随時)
- ② シンポジウム2008開催(11月27日(金) ブリーゼプラザにて開催)
- ③ 会員からのご要望・意見に対する検討と対応
- ④ 地域的な活動の強化(ユビキタス特区等)
- ⑤ 連携大学院制度の協力、支援(シンポジウムやワークショップでのPR)

3. 整備系活動

- ① NICTけいはんな研究所設立に伴う体制整備
- ② JGN2からJGN2plusへの移行と新たなネットワーク実験計画の検討

2008年度の活動報告②

	2008年 4月 5月 6月	7月 8月 9月	10月 11月 12月	2009年 1月 2月 3月 4月
企画・広報分科会	● 分科会幹事会 第6回分科会 (4/11)			● 第7回 分科会 (4/8)
創造系活動		→ 会員への研究 ニーズなどの 調査の実施	→ ポータル サイト 運営開始	→ 人材育成 セミナー専門 家向け企画
促進系活動	→ 協議会ホームページ リニューアル実施		→ シンポジウム 開催準備	→ ワークショップ企画
→ 随時発表(Webサイト& Newsメール送付)、情報通信技術研究交流会 (A C ・ N e t) 例会協賛				
整備系活動	→ NICTけいはんな研 究所設立に伴う体 制整備検討			
【オープンラボ関連】	● 第7回協議会 総会(5/27)	● けいはんな研究所 開所記念式典(6/23)	● 人材育成 セミナー (10/30~31)	● 協議会主催 シンポジウム (11/27)
→ オープンラボ協議会事務局打合せ随時開催(月1回程度)				
			● ワークショップ 2009(3/6)	● 第10回 運営研究 部会

注) 企画・広報分科会については、分科会設置要綱第4条3項により、場合により書面、Eメール等による開催とする。

各分科会への参加状況(2009年3月現在)

ワーキンググループ(WG)の内訳

新世代ネットワーク分科会			
分科会	相互接続性検証WG	フォトニックWG	ネットワークアプリケーションWG
44	21	21	11

※WGのみ所属している人がいます。

ユニバーサルコミュニケーション分科会				
分科会	言語コミュニケーションWG	ホームネットワークWG	2次元通信WG	情報分析WG
54	5	9	21	10

※WGのみ所属している人がいます。

ユニバーサル&ロボットシティ専門委員会		
委員会	オープンプラットフォームWG	生活支援型コミュニケーションWG
19	7	12

けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2008開催結果について

■日時場所:2008年11月27日(金) 13時~19時 於)ブリーゼプラザ

■テーマ :「ICT産業の国際競争力とアジアとの連携 ~日本のICT産業は世界で生き残れるのか~」

- 来場者数 : **141名** (交流会は**73名**)
- アンケート回収数 : **40名** (うち、オープンラボに興味があると回答:**28名**)
- 全体講評

◆次回シンポジウム
2009年11月
東京開催予定

基調講演の内容をベースにして、パネルディスカッションで活発な議論が行われ、アンケートでは、「(今後)標準化をうまく取り入れたい」「新しい知見が得られ大変有意義でした」「日常考えることがないグローバルな視線をもつことができた」「経営者の意識を向けさせるために各社のCTOクラスを招待された方がよい」「関西のパワーを強く感じました」等のコメントがあった。



開会挨拶:西村知教氏
(けいはんな情報通信オープンラボ
研究推進協議会 副理事長)



主催者挨拶:稲田修一氏
(総務省近畿総合通信局 局長)



閉会挨拶:榎木好明氏
(けいはんな情報通信オープンラボ
研究推進協議会 理事・運営研究部会長)



基調講演:平松幸男氏
(大阪工業大学大学院
知的財産研究科 教授)



特別講演:三村義祐氏
(パナソニック株式会社
スタンダードコラボレーションセンター 所長)



協議会の活動紹介:西田豊明氏
(京都大学大学院
情報学研究科 教授)



活発な意見交換が行われたパネルディスカッション



各ワーキンググループ、
会員企業・関連団体の
ポスターセッション風景



2008年度人材育成セミナー

◆日時:2008年10月30日～31日

30日(木) 9:20-16:45

31日(金) 9:20-16:45

※1コマ90分×2日間(8コマ)の集中講義

◆場所:近畿総合通信局 4階会議室

◆テーマ:「ユビキタスネットワークの現状と将来動向ー RFID(電子タグ),センサネットワークから無線LAN、WiMAX、次世代携帯電話、情報家電ネットワーク、通信放送融合を展望」

◆講師:阪田 史郎 氏(千葉大学大学院融合科学研究科 教授)

2004年までNEC研究所所長。インターネット、マルチメディア通信、ユビキタスネットワーク関連の著書30余。

内閣府、総務省、経産省の情報通信関係(無線通信、ユビキタスネットワーク、情報家電ネットワーク、センサネットワーク、次世代インターネット、アドホックネットワークなど)の主査、委員を多数務める。

専門分野: 情報通信ネットワーク、ユビキタスネットワーク

◆内容:21世紀に突入以降、ユビキタスネットワーク技術の進展は目覚ましい。

さらに、2020～30年の次世代ネットワークNGNから新世代ネットワークへ 移行に向けた研究が開始されている。

いずれのネットワークにおいても、その中核として、成長期を迎えるユビキタスネットワークの重要性はますます高まる。

本講義では、ユビキタスネットワークに関して、RFID(電子タグ)、センサネットワーク、無線LAN、WiMAX、次世代携帯電話、情報家電ネットワーク、通信放送融合を中心に現状と将来展望を述べる。

◆定員:20名

◆費用:テキスト代 2000円



阪田 史郎 氏

◆応募者数 :15名

◆コメント :有益度、難易度、時間、場所、資料すべてにおいて高評価であった。今後のテーマとしては、ユーザインタフェースやソフトウェア無線、センサーネットワーク、IPTV、モバイルWiMAX等を希望する意見があった。

◆課題等 :講義内容や講師は毎回好評であるが、受講者集めが課題である。話題性のあるテーマ設定をして、周知対象を広げていく工夫が必要。

ワークショップ2009について

■日時場所:2009年3月6日(金) 10時~17時 於)けいはんなプラザ ナイルA

◆次回ワークショップ
2010年3月開催予定

■開催概要:

「けいはんな情報通信オープンラボワークショップ2009」をけいはんなプラザで開催した。けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会の各ワーキンググループが、各研究成果を発表した。基調講演1は、(財)地球環境産業技術研究機構(RITE)専務理事 本庄孝志氏による「地球温暖化に向けたRITEの取り組み」。基調講演2は、NTT環境エネルギー研究所 染村庸氏による「ITU-TにおけるICTと気候変動に関する標準化動向」。その後、名古屋大学大学院 佐藤健一教授の講演が行われ、午後には、新世代ネットワーク分科会、ユニバーサルコミュニケーション分科会、今後の研究活動の紹介として「エネルギーの情報化」についての発表を行った。

○来場者数 : 78名

○アンケート回収数 : 30名

(うち、次回も参加を希望すると回答:93%、場所は関西方面70%、関東方面10%)

○全体講評

アンケートの結果、基調講演1 & 2にととも満足した(80%、67%)。各分会ワーキンググループの研究発表に関しては80%の方が満足と回答。けいはんな情報通信オープンラボに関しては67%の方が(条件があれば)利用したいとの回答があった。



開会挨拶: 榊木 好明氏
(けいはんな情報通信オープンラボ
研究推進協議会 理事・運営研究部会長)



基調講演1: 本庄 孝志氏
(地球環境産業技術研究機構
専務理事)



基調講演2: 染村 庸氏
(NTT環境エネルギー研究所
環境推進プロジェクト)



講演: 佐藤 健一氏
(名古屋大学大学院 教授)

パンフレットのリニューアルについて

- イメージカラーをブルーからグリーンに変更
- 協議会組織図、分科会活動を見やすく刷新

理事長 松下 正幸 パナソニック(株)副会長 (変更なし)
副理事長 西村 知教 日本電気(株)執行役員 関西支社長 (小川 太三氏から変更)



ごあいさつ



理事長 松下 正幸

けいはんな情報通信オープンラボは産学官連携によるICT研究開発の実践に向け、平成15年6月に(独)情報通信研究機構(NICT)知識創造コミュニケーション研究センター(平成20年4月けいはんな研究所開設)において開設いたしました。

当協議会は、本オープンラボを有効に活用し、ネットワークの高機能化、人間中心のコミュニケーションなど、ICTに関し実効的な産学官連携の構築、技術の育成、研究推進等を図るため、関西の産学官が一体となって設立した協議会です。

これまで、海外ベンダーとの複数キャリア間ネットワーク相互接続実験の成功やユビキタスホームにおける快適で安心して暮らせるためのサービス検証及び行動データの収集、また特区を活用した公道でのネットワークロボット実証実験の実施など、多くの成果が生まれてまいりました。

今後は、これらの生み出された新技術を開発に展開するとともに、利用者にとって一層の利便性・快適性を実感できるICT社会の実現に向けた技術開発を行っていくことが重要です。

このオープンラボでの成果が産学官連携のより良いモデルとなり、世界のデファクトスタンダードに育ち、合わせて国民生活を豊かにする技術開発の世界的な拠点に発展するように努力して参りたいと存じます。

本協議会へのご理解とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

活動概要

新世代ネットワーク分科会

新世代ネットワークの実現に向けた課題を解決するため、各レイヤにまたがるネットワーク関連技術の研究開発を推進し、日本発の技術を開発し、国際標準に提案し、我が国の国際競争力の確保を目指します。

- 光ネットワークに関しグローバルな相互接続性検証を実施、GMLSプロトコルの実証実験と国際標準化
- 幹線からアクセスまで光領域で情報伝達機構を行うフォトニックネットワーク技術について各種実証実験を推進、先進的光通信実証技術の開発
- グリッド応用/超広域アプリケーションのためのネットワーク高帯域の開発、及び異種ネットワーク間の相互接続性検証

国際標準化

- 国際標準化機関(ISO)において、イーサネットに適合した10Gbpsの光伝送方式の文書化に成功(平成18年11月)
- Waka43 "Transport of 100 base-R in Optical Transport Networks (OTN)"
- 相互接続実験により得られた知見に基づき、1.8Gbpsの取りこみの平成20年2月)

ユニバーサルコミュニケーション分科会

産業・文化・地方の境いを越え、心と心が通うユニバーサルコミュニケーションの実現に向けて、産学官連携を推進した研究開発を行い、新産業の創出、国際標準化、人材育成に取り組めます。

- NICTの持つ豊富な言語資源と高度な官制処理技術を利用した融合的な言語コミュニケーションシステムの研究開発
- ウェブ上の膨大な情報の中から検索できる「短の情報」を取り出し、産もが多様な検索に利用可能な検索の研究開発
- シート状の伝送媒体を用いて、衛星・次世代通信と電力供給を行うことができる二次伝送技術の研究開発
- ユビキタスホームを指向し、次世代のホームネットワークの実用化、普及促進、国際標準化に資する研究開発及び実証実験

ユニバーサル & ロボットシティ専門委員会

ユビキタスタウンの実現に向け、ユビキタスホームにおける生活実証実験及びネットワークロボットのの実証実験

- 最先端のユビキタス/センサーネットワーク環境におけるネットワークロボットの相互接続実験及びロボット間協調技術の研究開発
- 一般市民や共益するコミュニケーションロボットの発展に向けて、生活実証に必要なコミュニケーション技術の研究開発

けいはんな情報通信オープンラボ 研究推進協議会について

当協議会は、本オープンラボを有効に活用し、ネットワークの高機能化や、ユニバーサルコミュニケーション、ユビキタスネットワーク技術やロボット技術と融合したネットワークロボットなど、ICTに関し実効的な産学官連携を構築し、新たなサービスや産業の創出を目指すとともに、専門家の育成を促した人材の育成にも寄与してまいります。

- 全ページリニューアル
- 会員管理機能を追加
会員同士の情報交流が可能に

是非積極的に使ってください

ログイン

ユーザ名:

パスワード:

ログイン

協議会・WG会員ログイン機能



トップページ

◆◆◆ 事務局用フォーラム

(モデレータ: サイト管理者)

- このフォーラムに新規トピックを投稿できます
- このフォーラムのRSSを取得する

事務局用フォーラム

最終投稿日降順 トピック再表示

	返信	閲覧	投票数	平均点	トピック開始	最新投稿
2件ヒットしました						
ワークショップ2009の原稿入手	0	2	0	0.00	2009-2-28 7:41 wakana	
投稿テスト	0	12	0	0.00	2008-10-10 4:36 jimukyoku	

= 新しい投稿があります
 = 新しい投稿はありません
 = 不可視トピック (管理者とモデレータ以外には見えません)

= ロックされたトピック
 = 未解決トピック
 = 注目トピック

最新情報
シンポジウム
ワークショップ
総会

WGフォーラム

事務局
WGフォーラムトップ
- 相互接続性検証WG
- フォトニックWG
- ネットワークアプリケーション準備WG
- 言語コミュニケーションWG
- 2次元通信WG
- 情報分析WG
- ホームネットワークWG
- オープンプラットフォームWG
- 生活支援型コミュニケーションWG

リンク

会員専用フォーラムにトピックを追加し、情報交流が可能に

2009年度の活動計画①

1. 創造系活動

- ① 「エネルギーの情報化WG」を新設
- ② ウェブマガジン(シンポジウム等の開催報告やその他イベントの通知)の発刊
- ③ YRP(横須賀リサーチパーク)等と連携してアジア諸国でのセミナーの開催

2. 促進系活動

- ① ホームページによる協議会会員企業同士のコミュニケーションの促進、研究者等の紹介、協議会活動の一層のPR、普及・啓蒙活動の強化(随時)
- ② シンポジウム2009(11月東京にて)、研究発表会(3月けいはんなにて)の開催
- ③ 会員からのご要望・意見に対する検討・対応
- ④ 地域的な活動の強化(けいはんな環境・エネルギー研究会、ユビキタス特区、ナレッジキャピタル等)、アジアとの連携強化
- ⑤ 人材育成セミナーの開催
- ⑥ 連携大学院制度の協力、支援

3. 整備系活動

- ① 協議会体制の整備
- ② 新たなネットワーク実験計画の策定

2009年度の活動計画②

	2009年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2010年 1月	2月	3月	4月
企画・広報分科会	● 分科会幹事会 第7回分科会 (4/8)												● 第8回 分科会 (4/上)
創造系活動	→ 新WG発足		→ 人材育成 セミナー				→ 人材育成 セミナー						→ 成果発表会
促進系活動	→ 協議会ホームページ 利用促進						→ シンポジウム 開催準備						
→ 随時発表(Webサイト& Newsメール送付)、情報通信技術研究交流会 (A C ・ N e t) 例会協賛													
整備系活動	→ 新体制整備検討												
【オープンラボ関連】	● 第10回 運営研究 部会		● 人材育成 セミナー (6月)				● 人材育成 セミナー (10月)		● 協議会主催 シンポジウム (11月)				● 成果発表会 2010 ● 第11回 運営研究 部会
→ オープンラボ協議会事務局打合せ随時開催(月1回程度)													

注) 企画・広報分科会については、分科会設置要綱第4条3項により、場合により書面、Eメール等による開催とする。